

これからもずっと より良いまち であるために



【板東東子どもみこし会】

11月1日、町内を練り歩いた子どもみこし。地区に伝わる伝統行事を子どもたちに伝えていこうと、たくさんの大人たちが協力しました。



【堂浦婦人会、瀬戸小学校児童】

10月31日、瀬戸小学校で行った敬老会で寸劇「今昔浦島太郎」を熱演。ごみの不法投棄が海を汚してしまうことなど、地域一体となり環境問題を考えました。

WeLove'なるとデー

～鳴門のためにできることをする日～

みんなも
取り組んで
みましょう♪



さまざまな
活動が行わ
れたよ～



実施報告



【(公社)シルバー人材センター】

11月7日、文化会館周辺で除草・清掃活動を実施しました。これからも会員一人ひとりがこれまでの経験を生かし、地域社会に貢献していきます。



【阿波人形浄瑠璃鳴門座】

11月2日、同座稽古場で郷土芸能「人形浄瑠璃」を多くの方に知ってもらおうと、稽古の様子を公開しました。これからも仲間を募りながら、後世へと伝えていきます。

10月28日から11月10日、「WeLoveなるとデー」が開催されました。今回も市民の皆さんが、自分たちの住んでいるまちのためにできることをできる範囲で考えて活動を行いました。その一部をご紹介します。

〒市役所市民協働推進課
☎ 684・1200 FAX 684・1336
✉ shiminkyodo@city.naruto.lg.jp

鳴門を愛する思いが込められた市民の皆さんの活動が、これからのまちづくりの大きな力となります。主役は市民の皆さんです。より良いまちを目指して、これからも積極的にまちづくりに『参画』していきましょう。

「地域の課題を地域全体で考えたい…」
「地域の環境を良くしたい…」
「大切な地域の伝統文化を継承したい…」



2月16日、板東南ふれあいセンター(旧川崎幼稚園)で「板東よりあいふれあい福祉研修会」が開催されました。板東地区自治振興会福祉部会が中心となり地区内の福祉施設などに呼び掛け、研修会の実行委員会を結成。企画から運営まで全て「手作りの研修会」となりました。

地域の課題として取り上げたのは「高齢者問題」。いつかかけとなりました。本市出身の音楽家によるミニコンサートも開かれ、和やかな雰囲気の中、身近な住民同士が互いに助け合い、支え合う「互助」を見つめ直すきっかけとなりました。



地域の課題をみんなで共有

板東よりあいふれあい福祉研修会

までも住み慣れた場所ので安心して暮らしたいために、「自治会」として何ができるのかを考えようと約70人の住民が参加しました。

NPO法人山びこへるぶ酒井理事長による基調講演では、在宅介護現場の実情から、地域住民同士の助け合いの大切さを学び、パネルディスカッションでは、板東地区の高齢化の現状や地域包括支援センターなどの役割について情報共有しました。